

財産目録

令和 4年 3月31日現在

(単位:円)

貸借対照表科目		場所・物量等	使用目的等	金額
(流動資産)				
	現金	手元保管 普通預金 中国銀行岡南支店他18件 定期預金 中国銀行岡南支店1件	運転資金として	1,963,054
	預金			197,034,005
			運転資金として	50,000,000
	棚卸資産		販売物品の在庫である。	520,214
	未収入金		公益目的事業・収益事業等会計の収益である。	68,535,870
前払費用		施設がランティイ保険料等の翌年度分経費である。	343,363	
仮払金		利用者の休業補償金(保険会社への請求予定分)の仮払である。	1,188,602	
流動資産合計				319,585,108
(固定資産)				
基本財産				
	基本財産引当定期預金 中国銀行岡南支店1件		管理目的の業務に使用する財産であり、運用益を事業の財源として使用している。	410
	投資有価証券 岡三証券(株)岡山支店		管理目的の業務に使用する財産及び公益目的保有財産であり、運用益をそれぞれ事業の財源、民有地用の緑化事業の財源として使用している。	41,549,895
	SMBC日興コーポリアル証券岡山支店			206,440,967
	三菱UFJモルガン・スタンレー証券岡山支店			36,088,687
	みずほ証券岡山支店			67,942,791
	大和証券岡山支店			68,294,730
	緑化基金引当預金 中国銀行岡南支店1件		公益目的保有財産であり、運用益を民有地等の緑化事業の財源として使用している	130,636
	緑化基金引当定期預金 中国銀行岡南支店1件			778,260
	緑化基金引当現金	手元保管		2,162
特定資産				
	退職給付引当定期預金 中国銀行岡南支店2件		職員の退職金として管理している財源である。	99,855,664
	減価償却引当定期預金 中国銀行岡南支店3件		協会が取得した固定資産買換の取得財源の一部として管理している財源である。	33,307,710
	退職給付引当預金 中国銀行岡南支店1件		職員の退職金として管理している財源である。	20,000
その他固定資産				
	建物		公益目的保有財産であり、指定管理事業等に使用している。	2,628,413
	建物附属設備		公益目的保有財産であり、指定管理事業等に使用している。	590,000
	車両運搬具		公益目的保有財産であり、指定管理事業等に使用している。	26,491,464
	什器備品		公益目的保有財産であり、指定管理事業等に使用している。	32,646,169
	減価償却累計額			△ 57,777,309
	電話加入権		公益目的保有財産であり、指定管理事業等に使用している。	322,400
	ソフトウェア		公益目的保有財産であり、指定管理事業等に使用している。	2,174,701
	預託金		公益目的保有財産であり、指定管理事業等に使用している。	82,017
固定資産合計				561,569,767
資産合計				881,154,875
(流動負債)				
	未払金	役職員等	公益目的事業、収益事業等の債務未払分である。	78,371,039
	未払費用		公益目的事業、収益事業等の債務未払分である。	6,540,065
	前受金		公益目的事業、収益事業等の業務に使用する翌事業年度の施設利用料等である。	2,954,722
	預り金	役職員等	源泉所得税、住民税等	807,251
	賞与引当金	職員分	公益目的事業、収益事業等の業務に従事する職員の退職給付金の引当金である。	27,300,000
	未払法人税等			851,300
	未払消費税等			5,608,700
流動負債合計				122,433,077
(固定負債)				
	退職給付引当金	職員分	公益目的事業、収益事業等の業務に従事する職員の退職給付金の引当金である。	99,875,650
固定負債合計				99,875,650
負債合計				222,308,727
正味財産				658,846,148

財務諸表に対する注記

1. 重要な会計方針

重要な会計方針は次のとおりである。

- (1) 有価証券の評価基準及び評価方法
債券…移動平均法による原価法によっている。
- (2) 棚卸資産の評価基準及び評価方法
棚卸資産…最終仕入原価法によっている。
- (3) 固定資産の減価償却の方法
建物、建物附属設備、ソフトウェア…定額法
車両運搬具、什器備品…定率法
ただし、期中の取得価額10万円以上30万円未満の少額減価償却資産の合計額が300万円に達するまでは一括償却、300万円を超えるものは取得価額10万円以上20万円未満の少額減価償却資産は、3年均等償却
- (4) 引当金の計上基準
退職給付引当金…職員の退職給付に備えるため、当事業年度末における退職給付債務(自己都合要支給額)に基づき計上している。
賞与引当金…職員の次年度6月の賞与の支給に備えるため、当事業年度に対応する支給見込み額を計上している。
- (5) リース取引の処理方法について
リース資産はリース期間を耐用年数とし、残存価額を零とする定額法による。
- (6) 消費税等の会計処理
消費税等の会計処理は税抜方式によっている。

2. 会計方針の変更

記載すべき事項はありません。

3. 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

(単位:円)

科目	内容	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産	法人会計				
	基本財産引当定期預金	410	0	0	410
	投資有価証券	113,999,590	0	0	113,999,590
	公益目的事業1会計				
	緑化基金引当預金	0	130,636	0	130,636
	投資有価証券	306,317,480	0	0	306,317,480
	緑化基金引当定期預金	778,260	0	0	778,260
緑化基金引当現金	0	2,162	0	2,162	
	小計	421,095,740	132,798	0	421,228,538
特定資産	退職給付引当資産	118,963,650	20,000	19,087,986	99,875,664
	減価償却引当資産	33,307,710	0	0	33,307,710
	小計	152,271,360	20,000	19,087,986	133,183,374
	合計	573,367,100	152,798	19,087,986	554,411,912

4. 基本財産及び特定資産の財源等の内訳

基本財産及び特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

(単位:円)

科目	内容	当期末残高	(うち指定正味財産からの充当額)	(うち一般正味財産からの充当額)	(うち負債に対応する額)
基本財産	法人会計				
	基本財産引当定期預金	410	(205)	(205)	-
	投資有価証券	113,999,590	(56,999,795)	(56,999,795)	-
	公益目的事業1会計				
	緑化基金引当預金	130,636	(130,636)		-
	投資有価証券	306,317,480	(306,317,480)	(0)	-
	緑化基金引当定期預金	778,260	(778,260)	(0)	-
緑化基金引当現金	2,162	(2,162)		-	
	小計	421,228,538	(364,228,538)	(57,000,000)	-
特定資産	退職給付引当資産	99,875,664	(0)	(14)	(99,875,650)
	減価償却引当資産	33,307,710	(0)	(33,307,710)	(0)
	小計	133,183,374	(0)	(33,307,724)	(99,875,650)
	合計	554,411,912	(364,228,538)	(90,307,724)	(99,875,650)

5. 担保に供している資産

該当ありません。

6. 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高

固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は、次のとおりである。

(単位:円)

科目	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
建物	2,628,413	2,628,412	1
建物附属設備	590,000	548,812	41,188
什器備品	32,646,169	30,230,707	2,415,462
車両運搬具	26,491,464	24,369,378	2,122,086
合計	62,356,046	57,777,309	4,578,737

7. 債権の債権金額、貸倒引当金の当期末残高及び当該債権の当期末残高

該当ありません。

8. 保証債務(債務保証を主たる目的事業としている場合を除く。)等の偶発債務
該当ありません。

9. 満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益
満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益は、次のとおりである。

種類及び銘柄	帳簿価額	時 価	評価損益	(単位:円)
国 債	420,317,070	475,230,495	54,913,425	
合 計	420,317,070	475,230,495	54,913,425	

9. 補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高
該当ありません。

10. 基金及び代替基金の増減額及びその残高
該当ありません。

11. 指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳
該当ありません。

12. 他会計振替額の内訳 (単位:円)

内 容	金額
収益事業から生じた利益の公益目的事業1会計への繰入(50%)	2,798,016
経営安定化に向けた法人会計の収支均衡を図るための収益事業等会計から法人会計への資金異動	35,000,000
計	37,798,016

13. 関連当事者との取引の内容
該当ありません。

14. キャッシュ・フロー計算書の資金の範囲及び重要な非資金取引
該当ありません。

15. 重要な後発事象
該当ありません。

16. その他

(1) 退職給付関係

退職給付債務を計上しているほか、平成30年度より中小企業退職金共済制度に加入し、該当者分を中退共へ積立てている。

監査報告書

公益財団法人 岡山市公園協会

理事長 林 恭生 様

私たち監事は、令和3年4月1日から令和4年3月31日までの事業年度における会計及び業務の監査を行いました。その結果につき次のとおり報告いたします。

1 監査の方法及びその内容

各監事は、理事及び使用人等と意思疎通を図り、情報の収集及び監査の環境の整備に努めるとともに、理事会その他重要な会議に出席し、理事及び使用人等からその職務の執行状況について報告を受け、必要に応じて説明を求め、業務及び財産の状況を調査いたしました。以上の方法に基づき、当該事業年度に係る事業報告について検討いたしました。

さらに、会計帳簿又はこれに関する資料の調査を行い、当該事業年度に係る計算書類（貸借対照表及び正味財産増減計算書）及びその附属明細書並びに財産目録について検討いたしました。

2 監査意見書

(1) 事業報告等の監査結果

① 事業報告及びその附属明細書は、法令及び定款に従い、法人の状況を正しく示しているものと認めます。

② 理事の職務の執行に関する不正行為又は法令若しくは定款に違反する重大な事実は認められません。

(2) 計算書類及びその附属明細書並びに財産目録の監査結果

計算書類及びその附属明細書並びに財産目録は、法人の財産及び損益の状況を全ての重要な点において適正に示しているものと認めます。

令和4年 6月 3日

公益財団法人岡山市公園協会

監事 福原 一 義



監事 横山 純 子

